

平成17年度 事務事業評価表					
〔様式1〕					
記入年月日	平成17年4月20日		記入者	内線	3245
部 名	土木部	課 名	土木計画課	課長名	佐藤 繁
事務事業名	道路交通量調査				
予算上の事務事業名	道路交通量調査委託				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		32120		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政 策 名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます				
基本施策名	第1節 骨格幹線道路網の整備				事業開始年度
施 策 名	第2施策 市内幹線道路の整備				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
都市計画法、道路法					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 調査・研究 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
現況道路の断面交通量や旅行速度等の調査により、道路の利用実態や交通混雑区間等を把握する。また、過去の交通量調査結果との対比から市内交通の変動の分析、交通流動の分析を行い、道路の整備効果等を把握する基礎資料とし、今後の交通対策や道路計画を進める。			市内の幹線道路(都市計画道路・地区集数道路)		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
相模原市道路交通量調査業務委託 決算額 8,400,000 円 予算額 9,009,000 円 委託内容 一般交通量調査：定點19箇所、新點21箇所(16年10月27日調査実施) 旅行速度調査：14区間 交通量変動分析、交通量流動分析					
6 関連・類似事業や他市の状況					
県で実施する道路交通情勢調査(道路交通センサス)は5年毎に行っており、それに併せて調査を行うもの。県は平成16年度調査の予定であったが、1年ずらし、平成17年度に調査を行うこととした。					
7 事業費の推移 [単位：千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	9,450	1,092	8,400	0	0
一般財源	9,450	1,092	8,400	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	160	154	155	0	0
事業コスト合計(a)	9,610	1,246	8,555	0	0
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	道路交通量調査			対象名称(単位)	調査箇所数(箇所)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	9,610	1,246	8,555	0	0
対象数	40	5	33	0	0
単位あたり経費(円)	240,250	249,200	259,242	#DIV/0!	#DIV/0!
前年度比		1.04	1.04	#DIV/0!	#DIV/0!

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	道路交通調査箇所数（箇所）	指標式と指標 の説明	道路交通量調査箇所数（累計）		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	173.0	178.0	185.0		
目標	173.0	178.0	183.0	185.0	185.0
目標達成度	1.00	1.00	1.01		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	交通量調査箇所における閲覧 箇所数	指標式と指標 の説明	閲覧箇所数/交通量調査箇所数（累計）×100		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	データなし	データなし	65.0		
目標	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
目標達成度			108.3		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		毎年実施から5年ごとの実施に見直しを既に行ったところであり、道路行政を行うに最低限必要な情報の収集を、今後とも継続実施していく。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
現在は19点の定点観測であるが、さらに数を増やすことにより、交通変動の詳細な把握が可能。また、一般交通量調査のほか、旅行速度調査を加えることにより、道路整備後の効果を具体的に把握できる。			現状の交通量や過去のデータを利用した交通量の変動の把握など、道路計画を進める上で必要不可欠な調査であることから、今後も継続して進めなければならない事業である。 県で実施する交通センサスと併せた調査を実施することにより、経済的・効率的に進められる。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			